2013 数学作問グランプリ　実施要領

１．目　　的

作問することを通じて、以下の点について成長することを目的とする。

①　**より繊細な目で問題を見る**ことができるようになる

②　**作問する側の意図や気持ち**を感じとることができるようになる

③　班の**仲間とのやり取り**を通じて理解を深める

④　模試の**過去問を研究**することによって学力を高める

２．実施内容

・各自に過去問３年年分を渡す。（解答は後日配布）

・クラスを８班(５人程度)に分け、各班に、1小問集合、2確率、3図形と計量(三角比)、4複素数と方程式、5図形と方程式(円と直線)　の各分野を割り当てる。

・過去問の傾向を分析し、各自で問題を作成する。各自で作った問題を班で持ち寄り、班で問題と模範解答を１問作成する。

・優秀作は週末課題として全員に配布する。

３．実施計画

4／26(金)　生徒に説明。班分け、過去問の配布。

5／10(金)　各班から問題提出

　　数学科教員による審査（各分野２問を選出）

5／24(金)　週末課題　4複素数と方程式

5／31(金)　週末課題　5図形と方程式(円と直線)

6／14(金)　週末課題　2確率

6／21(金)　週末課題　3図形と計量(三角比)

6／28(金)　週末課題　1小問集合

４．審査基準

①　問題の表現、解答が正しいものであるか。

②　20 分で解く問題として量は適切であるか。

③　徒に難しすぎないか、逆に簡単すぎないか。

④　オリジナリティがあるか。